

平成 2 2 年度

河合町教育委員会事務事業評価報告書

河合町教育委員会

## 教育総務課関係

一次評価      二次評価  
(自己評価)

教育委員会の会議、規則等の規定改廃に関すること	A	A
-------------------------	---	---

教育委員会定例会開催 7 回・規則改正 4 件・要綱制定 1 件  
委員研修並びに学校訪問等行事への出席

- 定例会開催により規則等の改廃を含め 22 件の議案が審議された。  
委員研修 2 回、学校訪問、入学（園）式、卒業（園）式、運動会、  
町民体育大会、成人式、文化祭等行事へ出席した。  
平成 23 年度以降の小学校教科書の採択を行った。

児童生徒の就学、入学、転出入に関すること	A	A
----------------------	---	---

就学前健康診断 11 月 139 名  
転入・転出 転入 49 件・転出 37 件・区域外就学 18 件・指定校変更 11 件  
要保護・準要保護・特別支援児童生徒就学援助費  
小学校 3 名 ・ 80 名 ・ 7 名  
学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・給食費  
5,478 千円 ・ 235 千円  
中学校 2 名 ・ 54 名 ・ 4 名  
学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・給食費  
5,124 千円 ・ 185 千円  
就学指導委員会開催 2 回

- 経済的理由により就学困難と認める児童生徒に対し、必要な援助を行った。  
また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため  
必要な経費について補助を行った。  
心身等に障がいがある幼児・児童及び生徒の平成 22 年度就学の適正化を図る  
ため、実態や保護者の思いなどを勘案して、就学に関する方針を協議決定した。

学校の組織・学習及び生徒指導に関すること	A	A
----------------------	---	---

スクールカウンセラーとの連携 ・ 生徒指導体制の充実  
社会科副教材「わたしのふるさと河合町」 毎年 3 年児童配布  
学校評議員の充実 委嘱 小学校 10 名 中学校 10 名  
小学校外国語活動の充実 ・ 国際理解教育の推進（ALT 派遣）  
読書活動の推進  
早寝早起き朝ごはんの推進

- 平成 23 年度からの、小学校新学習指導要領完全実施に向け、従来より推進し  
ている英語活動の充実を図った。  
読書活動の推進により、授業への集中力が高まり学力の向上が図られた。

施設設備の整備に関すること	B	B
---------------	---	---

耐震補強

第二小学校管理棟

実施設計・監理業務 (株)都市企画設計コンサルタント  
1,112千円

補強工事 (株)岡田建設 3,780千円

第一中学校管理棟

実施設計・監理業務 (株)都市企画設計コンサルタント  
6,838千円

補強工事 (株)浅沼組 61,950千円

耐震二次診断

第二中学校校舎棟1棟

設計管理 (株)都市企画設計コンサルタント

総事業費 5,450千円

その他一般営繕関係 14,669千円

備品購入並びに図書費 5,868千円

- ・残りのI S値0.3以下の建物2棟の耐震補強工事及び年次計画に基づき耐震診断を行った。

住民生活に光をそそぐ交付金により学校図書の充実を図った。また、地球温暖化が進む中、教室内の温度の上昇を少しでも防ぐため、各教室に2台の扇風機を設置した。

児童生徒・教職員保健事業に関すること	A	A
--------------------	---	---

学校医・歯科医・薬剤師 各1名 事業費 1,796千円

児童生徒健康診断(結核・心電図・尿・ぎょう虫)

教職員健康診断(胃がん・結核・心電図・聴力・血液・尿検査)

葛城地区結核検討委員会 判定児童生徒 15名

(財)日本体育学校健康センター保健事業

基本的な生活習慣の推進

- ・学校保健安全法、結核予防法に基づく検診等を行い教職員、児童、生徒の健康管理の徹底を図り、良好な教育環境の保全に努めた。

学校給食に関すること	B	B
------------	---	---

給食調理員研修実施 年4回

抜き打ち食材検査実施 年1回

6食材 農薬検査(冷凍インゲン)・一般生菌類(冷凍むきえび)

カンピロバクター(鶏肉)・サルモネラ(卵)

O-157(ミンチ肉)・大腸菌郡(もやし)

学校給食献立会議 月1回

学校給食委員会 年2回

- 調理員の研修、食材等の衛生管理、献立会議の実施、給食委員会の開催など学校給食の充実は図られた。給食運営については、栄養バランスのとれた献立で魅力ある内容とし、食材は安全で安心なものを使用し、地元の食材も一部使用した。また、季節感を子ども達に感じてもらうため、旬の食材も取り入れたり、月一度は、世界や日本で起こった事案を取り入れたメニューを作り子供たちに食に対する関心を持たせた。

## 社会教育関係

一次評価 二次評価  
(自己評価)

社会教育施設の管理運営	A	B
<p>中央公民館・図書館省エネ・グリーン化推進事業 計画・設計管理委託：947千円、LED化整備：13,471千円、エコフィルム貼り付け工事：1,806千円                  中央公民館公共下水道接続 設計管理委託：410千円、工事請負：3,297千円                  公民館の管理運営 建物清掃委託：2,173千円、浄化槽・排水管清掃委託：1,289千円、各種点検管理委託：1,266千円                  年間利用者数 43,458人</p>		

温室効果ガス排出抑制対策と併せて省エネと維持管理経費の節減を目的としてLED化、エコフィルム貼り付けを実施。

建設後30年以上の経過により老朽化は著しいが、利用者に不快感を与えないよう利用者の方の協力も得て清掃等を心がけています。また、節電節水についても利用者に呼びかけ協力を頂き施設管理を行いました。

社会教育の振興	B	B
<p>社会教育委員会議 2回開催：経費 192千円                  社会教育関係団体の活動支援 郷土を学ぶ会、子ども会連合会、ガールスカウト、ボーイスカウト、PTA連合会、人権教育推進協議会、人権教育研究会、婦人会、盆裁会、文化協会、体育協会、おはなし会：経費 5,058千円</p>		

活動支援として、各団体に補助金を交付。各団体は、目的に合った公益的性格のある事業等を実施し、町の行事にも協力していただいている。

従前から活動助成的補助として各団体定額の補助金を交付している。今後は、公正な補助金の執行をするための基準を制定する必要がある。

青少年の健全育成	B	A
<p>青少年健全育成連絡会 2回開催                  夏休み夜間巡回4回、各小・中学校挨拶運動(9月)、有害図書等立入巡回啓発指導</p>		

「子ども110番の家」の旗配布 協力家屋428家庭：経費100千円  
 かわい寺子屋教室（7回） 参加者55名：経費323千円  
 親と子の体験教室（7回） 参加者50名（24組）：経費173千円  
 ふるさと河合絵画コンクール 出品数167点（11月5日～19日：公民館で展示）：  
 経費16千円

P T Aを中心に挨拶運動、「子ども110番の家」の旗設置、登下校の見守りなどにより、子どもたちの安全が守られている。

かわい寺子屋教室、親と子の体験教室は、参加人数も多く世代間交流、生活体験、自然体験、ものづくり、家族のふれあう機会、他の家族との交流などにより、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育まれる環境づくりを推進しています。

生涯学習機会の提供	B	B
-----------	---	---

#### 町民大学

- ・ 公民館文化講座（7～14回） 受講生235名【ネイルアート、実用篆刻、アレンジメントフラワー、健康ヨガ、ハワイアンフラ、着付、陶芸、料理、社交ダンス、男の料理、写真、大正琴、古典、子ども絵画】：経費908千円
- ・ 生涯学習セミナー（7回） 受講生71名：経費30千円
- ・ 歴史セミナー（7回） 受講生52名：経費8千円
- ・ 遺跡学セミナー（8回） 受講生26名
- ・ パソコン講座 6コース開催：受講生65名：経費378千円

町民大学を設立して8年。講座、セミナーの内容については、運営委員会と協議を行い老若男女が参加できるものを開講。講座により、人気のある講座との参加格差は少しあるが、講座については募集人数の93%が受講され、住民のニーズに応えられた生涯学習が提供されている。

セミナーについては、募集人数の45%の受講で少し低い。講演中心となるため参加意欲が少ないと思われる。募集人員を含め、講演のみだけでなく楽しく参画できる内容等を検討したいと考えます。

人権教育の推進	B	B
---------	---	---

#### 啓発活動推進事業

- ・ 第22回「人権を確かめあう日」県内一斉集会への参加（広陵町）なら・ヒューマンフェスティバルへの参加（天理市）：経費70千円
  - ・ インターネット人権相談、人権電話相談：経費417千円
- 差別をなくす町民集会（7月10日） 人権映画「ふみ子の海」：参加者342名：経費231千円
- 人権教育推進協議会 総会、事務局会の開催、研修会への参加  
 県人権教育推進協議会研究大会（参加者5名） 県人権教育推進協議会ブロック別研修会（参加者8名） 人権と部落問題講演会（参加者17名） 郡人権教育推進協議会研究大会（参加者34名）：経費415千円
- 現地人権学習会（4回） 「奈良坂」（奈良市）参加者126名：経費64千円

人権学習講座（４回） 参加者 78 名：経費 270 千円  
 識字学級 週 1 回（２時間）受講生 4 名：経費 24 千円

町民集会、現地人権学習は、例年通りの参加人数はありましたが、講座については少ない参加ではあるが、専門的な分野の講演内容であり充実した講座であった。

人権にかかわる教育や啓発については、どれだけの成果と効果があったのか、数値で表すことは難しく、また、こうした活動を数値に置き換えて判断すべきものであるのかとも思います。

住民への人権意識を高めるには継続することが何よりも大切であると思います。

文化財の保存に関すること	A	A
史跡大塚山古墳群買上事業 大塚山古墳の買収：888m <sup>2</sup> ：経費 19,481 千円 文化財展 11 文化財展示室の公開 史跡ナガレ山古墳の維持管理 管理委託：1,468 千円 「文化財防火週間」実施事業 文化財防火訓練（廣瀬神社）：参加者 13 名（神社関係者、消防団） 砂かけ祭りサポート 町指定無形民俗文化財である「砂かけ祭り」のPRと運営支援：経費 441 千円		

文化財保存整備は、史跡大塚山古墳群保存管理計画に基づき、大塚山古墳の一部を買収した。

史跡の維持管理は、町内外からの見学者の方々に史跡の形状を見ていただくため、職員により年 4～5 回の草刈を実施。ただ、ナガレ山古墳は、奈良県立馬見丘陵公園との一体的な維持管理が望ましいため、日常的な清掃・維持管理は奈良県、除草・植栽管理は河合町シルバー人材センターに業務委託した。

文化財の情報発信、PR は、文化祭に合わせた展示室の公開、公民館ロビーにて展示品の一部（資料、埴輪等）を 1 年を通して展示、また河合町指定無形民俗文化財である民俗学的にも重要な「廣瀬神社の砂かけ祭り」の保存継承を図るため、祭事実行のための支援を行い、町文化財の魅力を県内外に発信するとともに町の観光力の向上と活性化を図った。

主催事業、式典	B	B
成人式 記念演奏（中学生による吹奏楽） 記念写撮影：出席者 151 名 （出席率 80%）：費用 266 千円 文化祭（文化協会と共催） 作品出展 27 グループ、舞台発表 17 グループ ：費用 1,050 千円		

文化会館まほろばホール管理運営	C	B
若々しい創造力にあふれたまちづくりを進めるため、地域社会の活力と文化を生み出すための場として平成 4 年からオープン致しました。大ホール・小ホール・研修室があり、小ホール・研修室は年間を通じて利用されています。しかし、施設の老朽化が進み計画的な補修が必要である。 年間利用者数 31,098 人		

図書館	B	B
-----	---	---

生涯学習施設の一つとして、広く「本との出会い、人との出会い」を大切に、住民の様々なニーズに応え、地域ボランティアとの連携した事業の推進、また色んな情報提供の拠点として、子供からお年寄りまで、気軽に立ち寄っていただけるような図書館を目指している。事業として定例お話し会（年間44回）人形劇（年1回）を開催して子供と本の結びつきを高めている。

累計登録人数 20,890人 貸出人数 19,613人 貸出冊数 60,382冊

## 社会体育関係

一次評価      二次評価  
(自己評価)

事業の企画実施	B	A
---------	---	---

基本方針として、住民の健康維持、体力の増進を図り住民の交流を深めるため社会体育活動の展開を進め既存施設の維持管理や学校体育施設の開放を進めて関係団体や指導者の育成に努める。体育事業に関しては、参加者の高齢化・固定化や内容のマンネリ化が問題であり、ニュースポーツなどの種目を積極的に取り入れて住民にアピールしている。また、施設の備品や参加者の確保が困難になっている状況下で、体育行事は住民の理解や体育協会の協力を得て、行事の継続に勤めなければならない。

施設の設備・管理	B	B
----------	---	---

施設の使用料は徴収しています。(減免3分の1・子供の団体は無料)また、財政状況を考えると減免を見直す必要がある。施設の老朽化が進み、修繕にかかる経費が高額になる中、僅かな予算措置となっている。計画的に施設補修を考える必要がある。

設備・機材の充実	C	B
----------	---	---

一定のものは整備されているが、老朽化が進み計画的な入れ替えが必要である。

体育協会	A	B
------	---	---

年間行事が多く事業的には充実しているが、高齢化が課題であり参加者の固定化や内容の見直しが必要である。スポーツ少年団も子供が少なく存続が難しい状況である。

町民体育祭	B	B
-------	---	---

地域対抗種目は熱の入った応援が見られるが、大字選出や、子供の減少で選出が難しい地域もある。高齢化も影響があり種目の見直しも必要である。全体としても参加者減少傾向にある。今後の体育祭のあり方が課題である。

町民プール	B	B
-------	---	---

町民プールは、21年にリニューアルオープンし、7月中旬から8月中旬まで開場しました。連日子供達からは歓声があがり、高齢者もプール内で歩く方、遊泳する方で賑わいました。しかし安全対策が課題である。

体育指導委員	B	A
--------	---	---

体育指導委員10名で活動しています。町民のニーズに応えたが運動や・教室・体育館開放などの事業を年間通じて行っています。参加者の高齢化が課題であり、今後の活動内容を見直す必要がある。体育指導委員会を年間7回開催し学習プログラムを組んであらゆる情報を得ています。

評価の基準 A：満 足  
B：ほぼ満足  
C：要改善

## 意見

学校教育だけでなく社会教育・家庭教育の各事業は概ねほぼ満足できる評価といえます。ただ、町教育委員会としての目標がはっきりと提示され、その目標実現に向けて各事業がどれだけ達成できたかについて、観点別に評価が行われることで、次年度の課題も明確になってくると考えます。その意味で、町教育委員会としての目標をはっきりと示して頂ければと思います。これからの河合町の尚一層の発展を期待します。

前河合町立河合第三小学校  
校長 桜本直三